

PART

1



少年・青年期

5歳でビジネスを、
大学在学中に
株式投資を経験



「できるだけ多くのことを

やってみて自分が最も

好きなことをひとつ続ける」

——「人生と投資で成功するために娘に贈る13の言葉」(2009年)より

好きなことを好きなだけ突き詰める

5歳でコーラの売り子として働き始めたロジャーズは、そのころから、遊ぶことより勉強することや働くことが好きだった。また、小学生のときには、外国に興味をもち、世界中で起こっていることを調べていた。

ロジャーズの通う小学校に、マーティン先生とい

う女性の先生がいた。彼女は、いつも幸せそうに教壇に立ち、熱心に授業をしていた。ロジャーズは幼いながらも、彼女の仕事への姿勢に憧れを抱いた。アラバマ州の教員は薄給で知られており、ほかの州の教員になりたいと不満を漏らす先生もいた。しかし、彼女はいつも笑顔で、生徒と顔を合わせることを楽しみにしていた。彼女は真摯に仕事に取り組み、充実した日々を過ごしていた。

「情熱のある人は毎朝、好きな仕事が自分を待って



いると考えている」とロジャーズは話す。投資家でも、フアッシュョンデザイナーでも、医者でも、自分が本当に好きなことを追求していくことが成功するために最も大切なことだ。お金持ちでも、そうでなくとも、情熱を傾けてひとつのことに打ち込むことができれば、充実感が得られるとロジャーズは考えている。

偽物を掴まないための努力

イエール大学時代、クラスメイトが試験前に話した次の言葉に違和感を覚えた。

「この科目は、僕は5時間勉強する。この科目は5時間分の勉強に値するからね」

というのも、ロジャーズは十分に理解できるまでひたすら勉強し、理解できたら、その先を少し勉強するという方法をとっていたからだ。

ロジャーズは、幼少期に両親から「わかるまで突き詰める」ことを教えられてきた。真摯に物事に向


き合う家庭で生まれ育ったので、時間で測るような勉強が理解できなかったのだ。

「投資でも勉強でも、成功したければ、それについて熟知しておかねばならない」とロジャーズはいう。たとえば、ダイヤモンドの価格帯を知っていても、ダイヤモンドの見分け方自体を知らなければ、宝玉を買わされてしまう。これはロジャーズの実体験だ。安いと思って買った偽物だったことがある(ただし、もちろん、数万円程度の話で、このように失敗しても痛くない額に留まるという見込みを立てておくこともポイントだ)。また、この例のように、失敗から学ぶという姿勢も大事だ。

まずはたくさんすることに挑戦して、自分が本当に好きなものは何であるのかを理解する。そして、最も好きなことを続けていく。ひたすら努力するうちに、自ずと真価を見分ける目が養われるのだ。

そして、本当によいと思うものだけを買ったり、投資したりする。これが成功するために大切なことだとロジャーズは述べる。






アメリカ合衆国



アラバマ州
デモポリス



ジム・
ロジャーズ



のちに世界三大投資家の
一人とまでいわれることになる
ジム・ロジャーズは
両親の影響を
強く受けて育った

ジムが育ったこの町は
人口が少なく
かつては電話番号が
一桁で済むほどだった



母親は勤勉な人で
あまり子どものやることに
口出しはしなかった

ジムの母



1942年、ジムは
化学工場を経営する父と
専業主婦の母との間に

男ばかりの5人兄弟の
長男として生まれた



ジム(4歳)

ジム!

お城をつくりたいけど
どうつくればいいのか
わからないや

弟(次男)

弟(三男)

ジムは兄弟とともに
賑やかな毎日を過ごし



父親からは
わかるまで努力する
ことを学んだ



簡単に
あきらめるな!
わかるまでやる
ガッツが大事だ!

ジムの父

コーラは
いかがですか

5歳のとき、ジムは
コーラの売り子と
空き瓶拾いをしていた

1本
もらっていくよ

ありがとう

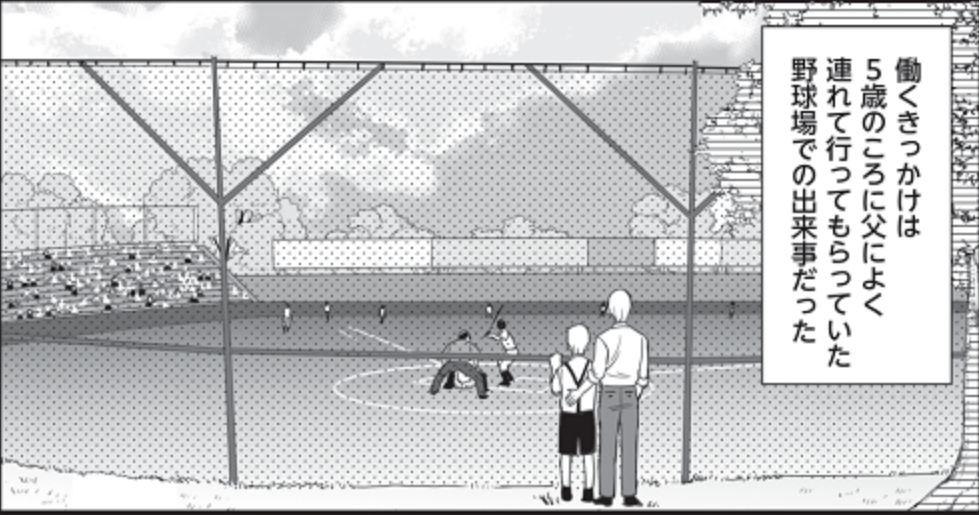
当時、アメリカの田舎では
幼い子供が働くことは
当たり前前の光景だった

そんな時代でも
ありジムも
幼いうちから
労働を経験した


こんなところに
あった!

これで今日の分は
全部拾ったかな


ふん...



働くきっかけは
5歳のころに父によく
連れて行ってもらっていた
野球場での出来事だった




試合が終わり
帰ろうとしていたとき
空き瓶を拾う
1人の女性が目に入った



その瓶
どうするの？


これ
今日売ったコーラの
空き瓶なんだけど
全部回収するの



お姉さん1人で？
大変だね…

そうね

午前中はコーラを売って
午後は空き瓶の回収
結構大変だわ



ねえ
仕事を手伝って
くれない？



私が売ったコーラの
空き瓶を集めて
きて欲しいの

お金はきちんと
払うから



以来彼女は
野球の試合のたびに
ジムが集めた
空き瓶を買ってくれた

あーざーどー



父さん
100ドル貸してよ

そんなに何に
使うんだい？




野球場でピーナッツが
たくさん売れるんだ


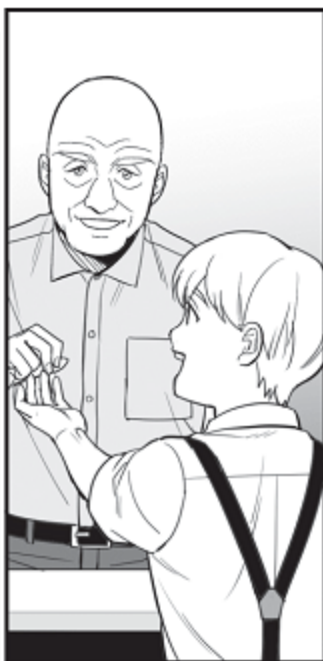
だからピーナッツを
焙る機械を
買いたんだよ



翌年から自ら
コーラを売ることにした
また、コーラだけでなく
ピーナッツも売った



ビジネスを
するのって
楽しい…!




ピーナッツの販売で
うまくいったジムは
その後、弟や友人にも
協力してもらった

僕はあっちの
ほうで売るから

お前は
この辺で
売ってくれ

そうしてジムは野球場での
ビジネスを成功させ



コーラを売ったり
空き瓶を集めた分は
お金を払うよ

弟(次男)

うん!

5年で1000ドルの
借金を完済したうえ
1000ドルの貯金ができた
(現在の日本円で約11万円)

14歳になっても
ビジネスへの熱は冷めず
毎週土曜日に
雑貨店でアルバイトをしていた

店番ぐらい
ちゃんとやるぞ

えっへん

いつもの
タバコ1つ

5セントだよ
まいどありー

雨でお客さん
途切れちゃったな

いっだって
何かしら
お前にできる
ことはある

父

空いた時間も
さぼらず働くなんて
感心だ
今度、給料を
上げてやろう

棚の掃除
ありがとうな

やった!

ジムは
こうした経験を経て
前向きに仕事に
取り組むことが
成功につながる
と学んでいく

1960年
ジムは高校を
卒業する

卒業おめでとう

あつという間に
社会人だな

おれは工場で
働くんだ

ジムは大学進学
だったよな

アラバマ大学か？

それとも
オーバーン大学？

イエール大学に
進学するんだ

えっ!?



月日がたち大学卒業を前に
ジムはオックスフォード大学
への進学に
かかる費用を捻出するため
夏休みのアルバイトを
探していた

どこでバイト
しようかな…

ちょうどそのとき
イエール大学では

企業の採用担当者が集まる
リクルートイベントが
開かれていた

おい
その君

投資銀行で
インターンを
してみないか？

ドミニク&ドミニク
採用担当者

私は
こういう
者で…

ドミニク&ドミニク
Investment Banker
New York

ドミニク&ドミニクか

ウォール街って
ニューヨークか

～このシーンの雰囲気～





こうしてジムは
株式と債券の違いも
わからないまま



この経験から
ジムは金融の世界に
進むことを決意する

市場が実際に
どう動いているかを
学び

世界の見方が
大きく変わったのだ

株式市場は世界で
起こった出来事によって
動いている

市場が受ける影響は
予測可能なのだ

これはすごい！

イエール大学卒業の後は
イギリスの
オックスフォード大学
ペリオール・カレッジに進学

理由のひとつは
知見を広げるために
海外に行きたかったから

もうひとつは
オックスフォード大学対
ケンブリッジ大学という
有名なボート部の対抗戦に
出ることを夢見たからだ